

クラス番号	607	担当教員名	大谷 京子
テーマ	ソーシャルワーカーの態度・視点を学ぶ		
著書・論文 研究課題等	『ソーシャルワーク関係—ソーシャルワーカーと精神障害当事者—』相川書房, 2012. 大谷京子 (2014) 「ソーシャルワークアセスメントスキル—面接ロールプレイを用いた質的分析—」『ソーシャルワーク研究』40(3), 48-57. 大谷京子 (2015) 「アセスメント面接に対するクライアント評価の探求—面接ロールプレイ分析—」『精神保健福祉学』3(1), 35-48. 大谷京子 (2016) 「ソーシャルワークアセスメントスキル評価指標の開発—精神保健福祉士を調査協力者とする質問紙調査より—」『ソーシャルワーク学会誌』32; 1-12.		

ゼミナール概要

キーワード：ソーシャルワーク関係、ソーシャルワーカーアイデンティティ、当事者研究

- 目的**
- ① 自分を知り、「なりたい自分」になるために、ゼミメンバーと共に成長します。
 - ② ソーシャルワーカーとしての実践力を養います。
 - ③ 卒論作成を通して、自分の疑問を言葉にし、探求し、答えを見つけるプロセスを身に付けます。

内容

ゼミ活動の内容・方法は、皆で相談して決めていきたいと思います。ソーシャルワーカーとしての実践力獲得をベースにしますが、そのためには、面接技術やアセスメント力だけでなく、人間力、対人スキル、柔軟性、抜く力、瞬発力、想像力、発想力、持続力、創造力、ユーモアなど、たくさんの力が役に立ちます。それらはそれぞれが既に持っているものです。自分の中にある力を開花させるきっかけを皆で探していきたいと思います。

これまでは「ビブリオバトル」、「ディベート」、「当事者研究」、「面接技法の練習」、「啓発動画作成」、「バンジージャンプ」、「精神科病院での啓発実践」、「先駆的实践現場見学」等々、皆で決めて実施しました。

計画

3年生

- ・4年生が企画するゼミ合宿に参加します。
- ・読む力、書く力、発表する力を身に着けます。
- ・コース企画のカンファレンスのために、事前学習と多職種へのインタビューを行います。
- ・夏休みには、卒業研究につながるレビュー論文を作成します。
- ・学生の学生による学生のための「自主企画」を実施します。
- ・南知多病院の入院患者さんを対象にしたイベントに企画段階から参画します。歴代ゼミ生は、クリスマス会で、社会的入院患者さんの退院に対するモチベーションを上げるきっかけになるようなお芝居やクイズ大会を企画・運営しています。
- ・学生が企画運営をして、ゼミ合宿へ行きます。

4年生

- ・当事者研究を行います。
- ・夏休みまでに卒業論文を提出します。
- ・後期は国家試験対策を全員で行います。

卒業後も、「歴代大谷ゼミ同窓会」が毎年3月に開催されます。ゼミ合宿に参加する卒業生もおります。横はもちろん、縦のつながりも大切にしています。

担当教員からのメッセージ



お互いに相手を大切にするゼミを目指しましょう。ゼミの全てのメンバーにとって安心できる場所にするため、安心を提供する責任をお互いに担っていききたいと思います。

一人ひとりが個性を発揮し、それぞれのタレントを生かしているようなゼミにしたいと思います。そんなゼミ創りに貢献していただける人を希望します。PSWに限りませんが、ソーシャルワーカー志望者がなじみやすいと思います。

エントリーシートには、①ソーシャルワークに関心をもった理由、②現段階での希望進路とその理由、③「がんばったなあ、自分」と思える経験とそこから学んだこと、④あなたご自身のセールスポイントを記載してください。